

平成 24 年 2 月 13 日

平成 24 年電気化学会北陸支部 通常総会・幹事会議事録

開催日時 平成 24 年 1 月 27 日 (金) 14:00~15:00
(時間超過のため、協議の一部を懇親会で行った。)
開催場所 パレブラン高志会館 (富山市千歳町 1-3-1)
出席者 (敬称略)
(支部長) 高橋、(幹事) 舘川、小野、宇野、松原、篠原、阿部、金、山口
(会計幹事) 桑原

配布資料

- ・ 別紙 1 平成 23 年度事業報告
- ・ 別紙 2 平成 23 年度会計報告
- ・ 電気化学会理事会報告 (北陸支部関連事項のみ)
- ・ 別紙 3 平成 24 年度事業計画案
- ・ 別紙 4 平成 24 年度予算案
- ・ 別紙 5 支部規約、内規、記念事業基金に関する規則
- ・ 別紙 6 常議員、支部役員名簿
- ・ 春季大会 (案)
- ・ 北陸支部 創立 50 周年記念事業について
- ・ 別紙 7 表彰功労者基準

1. 出席者数と委任状数確認および支部長挨拶

開会に先立ち、本総会の出席者と委任状を合わせると 92 名であり、北陸支部会員と支部顧問・幹事・常議員の総数 148 名の過半数である 74 名を超えることが報告された。

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| ・ 北陸支部会員および支部顧問・幹事・常議員 (総会開催案内状送付数) | 148 名 |
| ・ 出席者 | 10 名 |
| ・ 委任状 (はがき) | 82 名 |
| ・ 出席者と委任状の合計 | 92 名 |

高橋支部長から通常総会・幹事会の開会の挨拶があり、議題審議に進んだ。

2. 議題

(1) 平成 23 年度事業報告

平成 23 年度電気化学会北陸支部事業報告を資料 (別紙 1) に基づいて報告し、承認された。

(2) 平成 23 年度決算報告および会計監査報告

平成 23 年度電気化学会北陸支部決算報告を資料 (別紙 2) に基づいて報告し、承認された。

本決算報告について、電気化学工業(株)・舘川様と長岡技術科学大学・松原様から会

計監査を受けた旨の報告があり、続いて、代表して舘川様より、出納台帳、預金通帳、現金、ならびに会計業務が適正であることを確認した旨の報告があった。

(3) 本部役員の推薦について

次の方々を平成 23 年度本部役員候補に推薦させていただいた旨の報告があり、了承された。

各賞選考委員	佐藤 峰夫 様	(新潟大学)
	松原 浩 様	(長岡技術科学大学)
	篠原 寛明 様	(富山大学)

なお、編集委員については支部推薦の形式をとらず、現編集委員による推薦が行われた旨の報告があり、北陸支部では長岡技術科学大学・白仁田様が次期編集委員として選ばれているとの報告があった。

(4) 平成 24 年度事業計画および予算案審議

平成 24 年度電気化学会北陸支部事業計画案および平成 24 年度電気化学会北陸支部予算案が提案され（別紙 3・別紙 4）、了承された。主な変更点は、以下の通りである。

平成 23 年度は本会秋季大会（新潟地区開催）で北陸支部セッションを設けたため、支部独自の秋季大会を開催しなかった。そのために余剰となった資金を、50 周年記念事業のために積立を行った。しかし、それでもなお収支差額に余剰があったため、本年度、更に 50 周年記念事業基金に積み立てた予算案とした。また、24 年度支部秋季大会を 50 周年記念事業に当てることから、別紙 5 の基金に対する規則に基づいて協議した結果、積立金から 50 万円程度をこの記念事業開催資金に充てることが了承された。

その他、昨今の各大学における旅費規程との整合性を採るため、平成 24 年度から、幹事の 100 km 未満に対する旅費計算には特急指定席料金から特急自由席料金へと変更したい旨、事務局より依頼があり、了承された。

(5) 平成 24 年度 北陸支部春季大会について

福井大学・金先生から資料（春季大会案）に基づいて説明があった。前回春季大会（石川）において企画された“若手の会”〔学生の部〕を次期春季大会でも開催するとの報告があり、提案どおり了承された。

日程：5 月 17 日（木）、14:00 若手の会〔学生の部〕：福井大学アカデミーホール、20:00 若手の会〔教員の部〕、22:00～夜なべ談義。宿泊場所：芦原温泉：「清風荘」、18 日（金）9:30 表彰式、講演会：福井大学アカデミーホール、13:30 工場見学：アイテック（株）様。

総会・幹事会後の懇親会席上にて、阿部幹事より、編集委員幹事として、「若手の会〔学生の部〕において最優秀賞並びに優秀賞を受賞した場合には、Electrochemistry 誌へ、受賞してから 1 年以内を目処に論文投稿を義務づけてはどうか」との提案があり、了承された。なお、Electrochemistry 誌に掲載する北陸支部春季大会会告に、この旨を明記する方向で福井大学に検討をお願いすることとした。

(6) 平成 24 年度 北陸支部秋季大会（支部 50 周年記念事業）について

富山大学・阿部先生より、総会幹事会の限られた時間内では議論する時間が取れないため、開催日程と開催場所のみを決定し、“たたき台”（別紙）の検討は懇親会で行った

いとこの提案がり、了承された。その結果、開催日程として11月8日(木)・9日(金)(一泊二日)を第1候補とし、開催場所を宇奈月温泉とすることが了承された。

総会幹事会後の懇親会において、更に50周年記念大会の実施に関わる“たたき台”をもとに議論が行われた。記念事業の特色を明確にしたいとの意向から、従来秋に行われてきた学生の研究発表を取りやめ、北陸支部に籍を置く教員、退官された先生方、支部内外の若手研究者などの講演を中心に行うこと、2日目にはエクスカージョンを組み入れることなどが了承された。講演者の選定や全体の予算に合わせた招待者への援助など、更に富山大学・阿部先生に案を煮詰めていただくこととした。

また、50周年大会における功労賞記念事業については事務局が担当することとし、それを受けて、事務局側より現状把握している功労賞該当件数の報告があった。従来の表彰功労者基準に照らし合わせると、該当21件となるが、従来の表彰に加えて50周年の特別表彰を検討しており、従来型の表彰13件、特別表彰13件となる案が提示された。本件については、事務局側で予算を含めて、更に詳細を検討することとした。

なお、支部秋季大会において従来行われている学生の研究発表が無くなることから、支部春季大会において学生発表件数が若干増加し、大会運営に支障が出る懸念が指摘された。そこで、春季大会担当の福井大学・米沢先生と金先生に、本件に対して、前向きに対処して頂くように申し入れることとした。

(7) 第274・275・276回電気化学会理事会報告について

高橋支部長より、別紙に基づき、理事会報告があった。特に1月4日付で本会は正式に公益法人へと移行したことに関連して、現在、北陸支部から代議員に選出された7名の方に、2月23日開催の公益法人移行第一回目に当たる総会・代議員会への出席要請がなされた。

(8) 支部幹事退任について

昨年9月の幹事会において、新潟大学の太田雅壽様から、本会秋季大会も終了したことから、自身は幹事を退任し、新潟地区では従来の幹事2人体制に戻したい旨の申し出があった。このことについて、本総会幹事会で改めて議題に取り上げて審議した結果、本申出を尊重して了承することとした。なお、太田雅壽様には長年に亘り北陸支部幹事として支部活動に尽力して頂いたことから、支部として、名誉幹事に推挙することとした。

(9) その他

・常議員代表者の変更について

小松精練株式会社 奥谷晃宏様から金法順正様への変更が報告された。

・今後の支部幹事のあり方について

新潟地区太田様の幹事退任を受けて、富山地区の幹事3人体制が議論されたが、現幹事の積極的な支部活動支援に加え、富山地区では支部会員数が多いにも関わらず、富山大学のみで対応していることから、高橋支部長より、今後も引き続き、3名の幹事の方をお願いし、支部活動を活性化していきたいとの提案があり了承された。

・三菱化学直江津事業所との懇談報告

高橋支部長より、昨年10月13日、三菱化学直江津事業所へ訪問し、所長の中村様との懇談、並びに支部常議員の田原様の案内で沖プリンテッドサーキットの会社見学をさせていただいたことの報告があった。三菱化学直江津事業所は、かつて、常議員・幹事

として長年に亘り支部活動を支援いただいた経緯がある。具体的には、支部役員から高橋支部長に加え、蓮覚寺顧問、梅田前支部長、山口庶務幹事の合計4名が出向き、近年の支部活動の説明を行った。

この件に併せて、各地区において企業を紹介いただければ、改めて支部長より、挨拶と支部活動の説明に出向いて支部常議員会員の増強をはかりたいとの意向が表明され、幹事の皆様に地区企業の紹介の依頼があった。